



野生イノシシの豚熱ウイルスに対する免疫獲得状況について 2024年度第4四半期(2025年1～3月)

2025年5月

2024年度第4四半期(2025年1～3月)に捕獲された野生イノシシのうち、23個体の抗体検査を実施し、2個体から豚熱ウイルスに対する抗体が検出されました。その結果、免疫獲得率は8.7%となり、前年度の同時期に比べて29.3ポイント下降しました(図1)。

〈補足：著しく下降した要因〉

例年と比較して年度前半の捕獲件数が多く、検査業務の予算が不足し、第4四半期の検査数を制限したことから、サンプル不足(23個体)となったことが影響していると思われます。

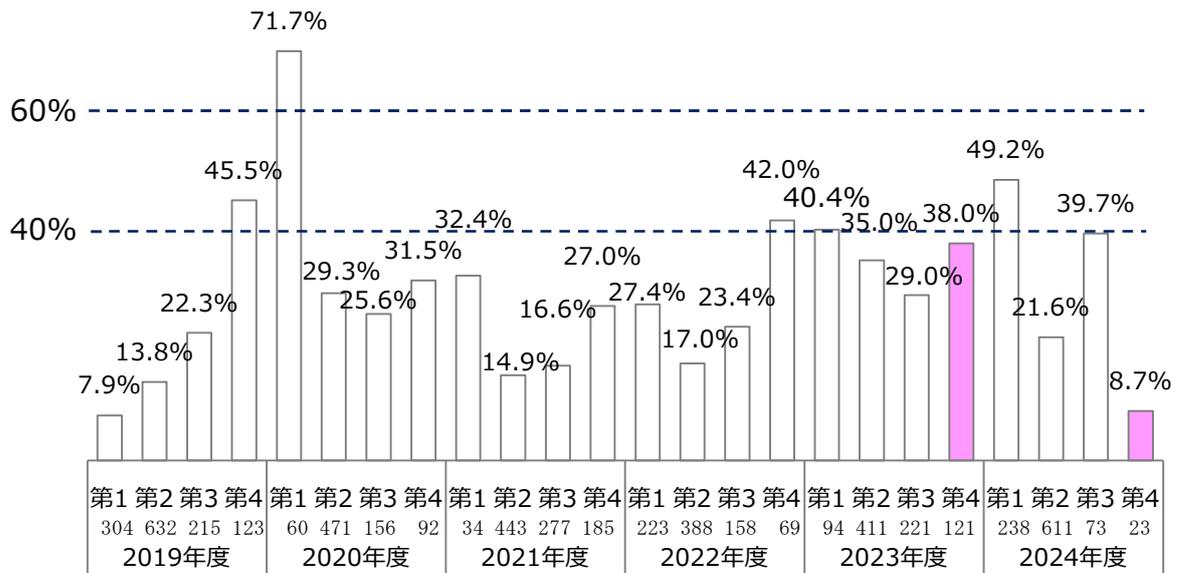


図1 愛知県の野生イノシシの免疫獲得率の推移(四半期ごと)

注) 各年度上部の数値は4半期ごとの検査個体数

(裏面に続く)



なお、2024年度の免疫獲得率は29.6%で前年度の34.5%に比べてやや低下しています(図2)。

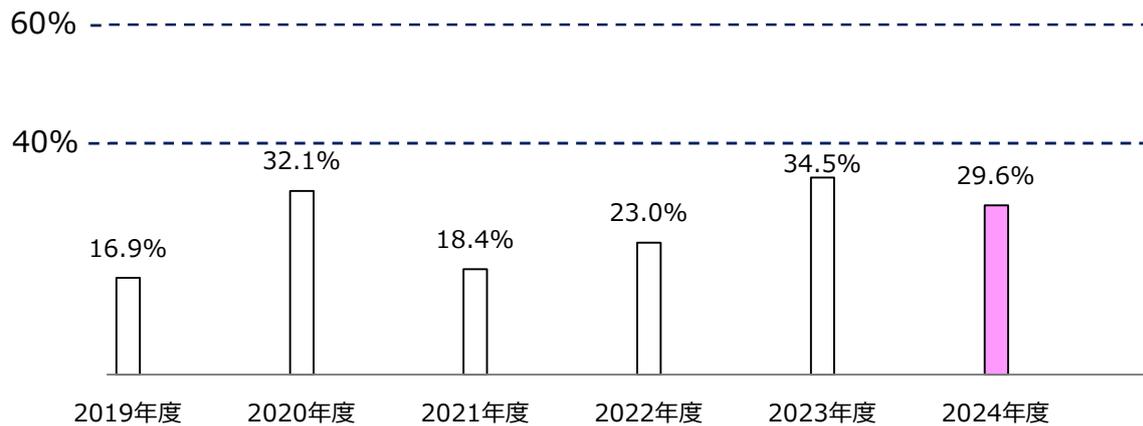


図2 愛知県の野生イノシシの免疫獲得率の推移(年度ごと)

【参考：免疫獲得状況の調査方法及び評価について】

捕獲個体の血液を検体とし、豚熱ウイルス外殻タンパク質に対する抗体が検出されれば免疫を獲得していると判定します。欧州委員会が2010年に公表したガイドラインによれば、感染拡大防止のためには少なくとも40%の免疫獲得率が必要です。集団免疫状態と評価できるのは、免疫獲得率60%以上とされています。